

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 4 年度病虫害発生予察技術情報第 6 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 6 号（水稻いもち病）を発表したので送付します。
本年のいもち病の発生は、7 月上旬までは平年並でしたが、その後の天候不順により、県北地域及び
中山間地域の一部で多発しています。
今後の気象条件次第では、発生拡大と穂への感染が懸念されますので、ほ場での発生状況の把握に
努め、防除を徹底してください。

技術情報第 6 号

- 1 作物名：水稻（普通期）
- 2 病虫害名：いもち病
- 3 発生状況

(1) ほ場調査結果

県内 45 の定点ほ場における 7 月 5 半旬調査の結果、葉いもちの発病株率は 8.4%（平年 4.7%、前年 0.3%）、発生ほ場率は 33.3%（平年 19.6%、前年 4.3%）で、発病株率・発生ほ場率ともに平年・前年より多かった（図 1）。

発病程度は地域やほ場間差が大きく、一部の中山間地域などで増加している。また、孢子形成量の多い進行型病斑の発生ほ場率は 28.9%（平年 9.8%、前年 0%）と平年・前年より多かった。

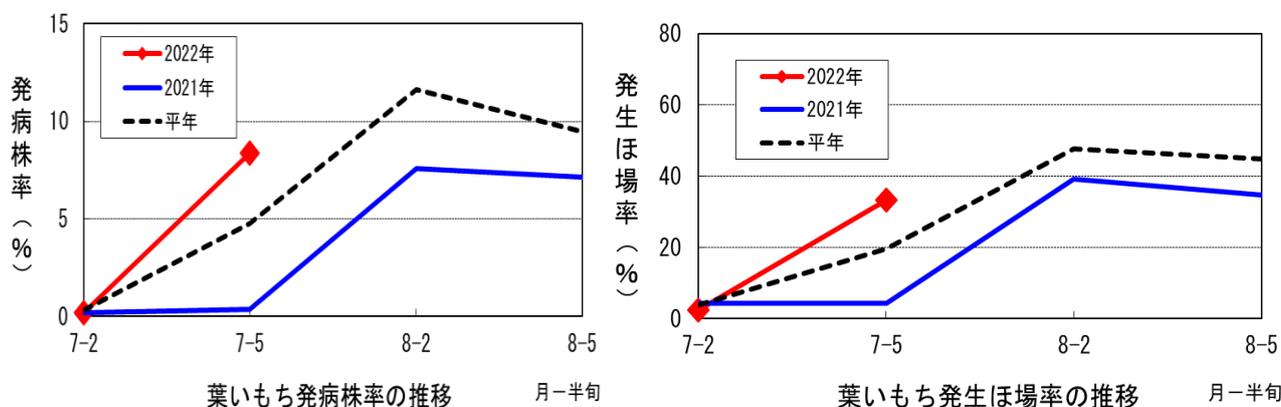


図 1 葉いもちの発病株率と発生ほ場率の推移

(2) 今後の気象予報

福岡管区気象台が7月21日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量と日照時間は平年並となっている。

4 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場によって葉いもちの発生状況が異なるため、ほ場を見回り、発生状況を確認する。
- (2) 進行型病斑がみられるほ場では、直ちに葉いもちの防除を実施する。
- (3) 穂いもちは発生後の防除が困難であるため、葉いもちの発生が多い場合には、出穂前に粒剤の散布を行う。もしくは、出穂期直前と穂揃期に茎葉散布剤を散布する。
- (4) 農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された対象病害虫名・使用時期等を確認し、使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。
また、ミツバチ・魚介類等の周辺動植物及び環境に影響がないよう、飛散防止対策を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。
- (5) 使用する農薬については、「令和4年度版病害虫・雑草防除の手引き (<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bojonotebiki.html>)」を参照する。
- (6) 病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①



○Twitter（ツイッター）で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント（福岡県農作物病害虫情報）へのアクセス

URL : https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②

